

奥州支部だより

第38号

令和8年8月発行

公益社団法人岩手看護協会

奥州支部長 佐藤 智恵美

■看護の日のイベントに参加して■

奥州市国民健康保険まごころ病院 看護師 乗金 高志

奥州支部で例年開催している「看護の日」のイベントに初めて参加してきました。開催場所はコープあてるいのホールで、看護職体験コーナーで子供用白衣を着て写真撮影、グリッターバグを使っての手洗い体験、健康相談、食事相談を実施しました。なかでも印象的だったのが、白衣を着て笑顔で写真を撮る子供たちでした。中には「看護師になる」と言って帰った子供もいました。このイベントが看護師になるきっかけになったら嬉しいなと感じました。参加者は約80名で幅広い年代の地域住民に来ていただきました。多くの人々に健康や看護の仕事に興味を持ってもらえたのではないかと思います。今後はより多くの方に参加していただけるよう、広報活動や開催場所の検討をしていきたいと思いました。



■いわて奥州きらめきマラソン■

岩手県立胆沢病院 看護科 鈴木 千賀

5月17日晴天の中、第10回いわて奥州きらめきマラソンが開催されました。県内のみならず国内外からも多くの参加者が駆けつけ、選手も応援部隊も町がひとつになった一日でした。太陽が照り続ける中、子供から大人まで汗を流しながらゴールに向かって走る姿に元気と感動をもらい、心に残る日となりました。私は救護班としての参加でしたが、暑さに負けず走りきれるよう全力でサポートにあたりました。

運営スタッフ、救護係、ボランティアの方々の事前準備が整っており、このサポートがあってランナーが安心して走れているのだと思いました。機会があれば私も選手として参加してみたいと思います。皆様、お疲れさまでした！

※奥州支部から11名が救護に対応しました。



■～心のバトン～■



総合水沢病院 後藤 剛也

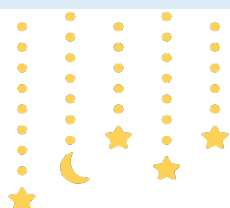
看護師となり1年が経ちました。病院に入職して最初の頃は看護師としてやっていけるのか、先輩達のように一人前の看護師になれるのか大きな不安がありましたが、プリセプターや教育指導者をはじめとしたスタッフの方々の優しくかつ丁寧な指導のおかげもあり、看護師として働く事への充実と楽しみを感じることができています。私が勤務している病棟は外科、内科、泌尿器科、耳鼻科、小児科等様々な疾患を抱えた患者さんが入院しています。年齢層も様々で、100歳を超える方から生後数ヶ月の乳児まで幅広い年代の患者さんに関わり、看護技術や処置も様々で学生の頃に学んだ知識だけでは対応できない場面も多く、自分の未熟さを実感することもありました。失敗して落ち込むこともありましたが、先輩方から丁寧な指導を受け、一つひとつ乗り越えることができました。

看護師になって大変なことも多かった一方でそれ以上に嬉しいこともありました。患者さんから感謝の言葉をいただいたり、長く入院していた患者さんが退院し、外来でお会いした時に「いまはすっかり元気だよ」と笑顔で声をかけられた時は、看護師という仕事の魅力を改めて感じました。

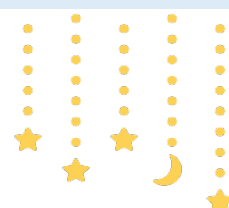
これまでうまくできないことがあれば一緒に先輩が考えてくださり、たくさんアドバイスもいただきました。そういった周囲の環境に恵まれているからこそ、2年目になった今も変わらず、何事も全力で取り組むことができているんだと実感しています。今後もまだまだ覚えなければいけない事がたくさんあるので継続学習に取り組み、看護師として日々成長していきたいと思います。



■役員紹介■



令和8年度 奥州支部役員・委員紹介



支部長	佐藤 智恵美(美山病院)	
副支部長	熊谷 薫(奥州病院)	佐々木 由美(総合水沢病院)
書記	乗金 高志(まごころ病院)	畑中 麗(江刺病院)
会計	菊池 加奈江(美希病院)	北條 真由美(胆沢病院)
保健師職能	清水 修子(奥州市役所)	
看護師職能Ⅰ	鈴木 千賀(胆沢病院)	高橋 香(総合水沢病院)
看護師職能Ⅱ	千田 瑞穂(金ヶ崎診療所)	高橋 久美(美希病院)
推薦委員	佐々木 則人(胆沢病院)	菊池 賀奈子(江刺病院)
	岩淵 真咲(奥州病院)	家子 たえ子(美山病院)